

当院では、北海道中央労災病院せき損センター三浪明男院長が代表研究者となって行っている「手根管症候群患者と作業内容（種類や期間など）との関連に関する研究」に研究協力を行っており当院で登録された病職歴データにおいて対象となる症例があったことから患者の個人情報保護のため患者氏名、生年月日等は黒塗り消去の上匿名化し、入院診療要約書（サマリー）を本部病職歴システム上で提出したことを報告します。